

平成28年度 第3回 宮古市中心市街地拠点施設市民検討委員会 議事録

1. 日時 平成28年10月28日（金）午後3時から午後5時15分まで
2. 場所 宮古市役所 分庁舎 3階 大会議室
3. 出席委員 16名  
北原啓司（委員長）、澤田克司、赤沼正清、志賀政信、小野寺文雄、内田瑛子  
盛合敏子、津田重雄、中野正隆、中村儀雄、山下修治、赤沼利彦、戸田麻子  
金野侑、三上政勝、中村一郎
4. 事務局等出席者 19名  
企画部復興推進課 課長 多田康  
拠点施設推進室 室長 岩間健、同主任 竹田真人  
都市整備部建築住宅課 建築係 主任技師 宇夫方徹  
危機管理監危機管理課 防災係 係長 山崎正幸、同主任 高岡芳行  
鹿島建設株式会社東北支店 嘉本孝志、渡部寛、萱野崇、佐々木雄大  
日本国土開発株式会社盛岡営業所 古川一成  
陸中建設株式会社 齋藤勝俊  
株式会社久米設計 丸目明寛、李勝煥、笹川勇  
株式会社三菱地所設計東北支店 小川真隆、小野寺紳  
株式会社乃村工藝社東北支店 月井祐貴、森藤崇
5. 傍聴者 なし
6. 議題
  - (1)宮古市中心市街地拠点施設建設事業の進捗状況について
  - (2)宮古市中心市街地拠点施設の管理運営について
  - (3)宮古市庁舎跡地整備基本計画（案）の検討について
7. 議事録（要旨）
  - (1)宮古市中心市街地拠点施設建設事業の進捗状況について

主な意見及び質疑事項
<b>質疑</b> ・駐車場は機械式だが、イベント開催時に対応可能な台数か。機械式だとお金を払えば他の周辺イベント参加者も利用可能だが、割り切るのか。
<b>回答</b> ・平日は市役所利用、休日は多目的ホール利用でピークとなる。運用方法については今後検討するが、現状ではお金を払えば施設利用目的外でも利用できると考えている。周辺には駅前の市営駐車場などもあり、折り合いをつけたい。（事務局）
<b>質疑</b> ・一般市民が通常利用したい際に満車になる可能性はあるのか。
<b>回答</b> ・現在の市役所の駐車場は、混雑時に105～120台が利用しており、それを考慮して新施設の駐車場は140台分を整備する。土日の場合は市役所以外の限定的な利用となることを考えると賄える台数と考える。（事務局）
<b>質疑</b> ・1階部分について、機械室があるが、浸水の可能性はあるのか。
<b>回答</b>

<p>・最大浸水は 1.5m と想定されるが、盛土を行うため 1 階部分の高さは確保されている。重要な機材は上階に配置するなどソフト面でも対応を行う。(事務局)</p>
<p><b>質疑</b></p> <p>・浸水深等は何を基準に想定されているのか。</p> <p><b>回答</b></p> <p>・ハザードマップを基にしている。一番低いところで最大 5m 浸水すると想定されているが、標高 3.8～4m の場所に 1.5m の盛土を行う為、計画地が浸水することはない理論上はないと考えている。(事務局)</p>
<p><b>質疑</b></p> <p>・現在の閉伊川は 200mm を越える雨が降ると決壊すると想定されている。ハザードマップの想定では 5m となっているが実際はそうではない可能性もある。最悪の場合を想定することが大事だ。県と協議し、河川整備を行うことも必要だ。</p> <p><b>回答</b></p> <p>・根本的な対策も必要だ。想定していないだけで起きないわけではない。本来の災害対策は関係機関・部署で併行して進めていただくように伝えてほしい。(委員長)</p>
<p><b>質疑</b></p> <p>・給水設備は受水槽だけで間に合うのか。トイレ等使えなくなった場合の排水についてはどうなるのか。</p> <p><b>回答</b></p> <p>・給水は避難者数と職員数、滞在日数、外部から給水が得られる期間をシミュレーションした結果、受水槽と高架水槽で充足する計画で、その他ペットボトル等の備蓄もあり、想定する日数は間に合う。排水については、下水道管が破断した場合は、地下ピットの排水槽に溜めることができる。雑排水は、平常時からトイレ洗浄水等に利用する計画である。(事務局)</p> <p>・この施設は一時避難場所になるので、長期滞在は想定していない。(委員長)</p>
<p><b>質疑</b></p> <p>・駐輪場はあるが自転車の動線がどうなっているのか分からない。車と同じ動線だと危ないと感じる。</p> <p><b>回答</b></p> <p>・事務局で検討する。(事務局)</p> <p>・安全上の棲み分けが必要だ。(委員長)</p>
<p><b>質疑</b></p> <p>・防災展示は使いこなせる人が必要になってくる。人がいないと成り立たないし、使いこなせていないことになる。ソフト面については考える必要がある。(委員長)</p> <p><b>質疑</b></p> <p>・リアスアークを視察したことがあるが、展示構成など心に響かなかった。そうならないように、心に響く展示にしてほしい。</p>
<p><b>質疑</b></p> <p>・沿岸部の地図について、北が右側になっているが左側の方が陸から海を見ることになり、津波がここまで来たという感覚になると思う。</p> <p><b>回答</b></p> <p>・内部の会議でも、普段の地図のように北が上になる方がよいという意見も出たが、津波</p>

被害を地図に落とし込んだ場合は、横に展開した方が効果的だと考えた。ご意見を参考に検討を進める。(事務局)
・感覚的にいつも見ている地図のように表現できればいいのではないか。(委員長)
<b>質疑</b> ・デジタルサイネージの設置はいいと思うが、世の中ではゴーグルを付けて立体的に映像を見せる装置が出てきている。子どもが立体で危険を感じるような設備があってもいいと思う。
<b>質疑</b> ・「防災手帳」が各世帯に配布されているが、これを活かすことが大切だ。防災研修の資料には Q&A 方式で、子どもも本を読んでいればすべてがチェックできるものだった。そういう遊び感覚でできる計画にしてほしい。
<b>質疑</b> ・現庁舎敷地には黒石市や多良間村との交流記念碑等があるが、どう取り扱うのか。
<b>回答</b> ・現庁舎敷地内の石碑等のほか、駅前の鉄道関連の記念碑の設置場所についても検討中である。新拠点の敷地は設置スペースが限られるため、残すことも含めて検討したい。(事務局)

## (2) 宮古市中心市街地拠点施設の管理運営について

主な意見及び質疑事項
<b>質疑</b> ・市民交流センターの概要にある 5 つの役割について、市民活動や生涯学習、市民福祉の違いが明確に分からない。
<b>回答</b> ・どのようなスタンスで運営していくのか示していくことが必要だ。(委員長)
<b>質疑</b> ・機能イメージの取り組みに防犯に関する記述がない、市民生活の安全も大事な項目なので考えてほしい。
<b>回答</b> ・今後検討したい。(事務局) ・防災展示学習ゾーンは決して面積が大きくない。パネル展示などを交流プラザも含めて広く展開するなど、フレキシブルに利用していくと内容も広がってくる。運営側に学芸員というような想定の説明もあったが、今後検討されたい。(委員長)
<b>回答</b> ・今回は、先行事例のオガールプラザや八戸の「はっち」など、詳しく紹介してほしい。(委員長)

## (3) 宮古市庁舎跡地整備基本計画（案）の検討について

- ・質疑なし

## 8 その他 なし

(事務局連絡) 次回開催は、平成 29 年 1 月 13 日 (金) 午後 3 時から

以上、閉会。